



# 山桜

高階西中だより第22号  
平成29年 3月21日

川越市立高階西中学校

## 本校の伝統「当たり前前」の事を当たり前前「にやり抜く その2」

～語先後礼(ごせんごれい) 続けると本物になる～

「高階西中 生活の基本」の中に、「語先後礼」があります。これは、「洗心無言清掃」同様、先輩から脈々と受け継がれてきた伝統です。



「おはようございます」「お願いします」と言いながら同時に礼をするのではなく、まずは「おはようございます」「お願いします」と言い、その後礼をする、といった一連の動作です。これは、「二つの動作をまとめてやるのではなく、一つ一つの動作(例えば、挨拶と礼)に心を込めよう」という考え方に基づくものです。特に、朝の会・帰りの会や授業の始めと終わりなどでは全校生徒・教職員が心がけて取り組んでいます。

← 各教室に掲示してある「学校教育目標」「高階西中 生活の基本」「語先後礼」

先日高校入試をはじめ、上級学校訪問や社会体験活動(職場訪問)において、この姿を御覧になった相手方から「気持ちが込められていて、大変よかった。」と褒めていた

いただきました。あくまでも、相手に気に入られることを目的として行うことではなく、お互いの気持ちが通じ合った温かな人間関係を築くためのものです。

相手への敬意を目に見える形で表すことは大切なことの一つです。

そして何より、学校・学年・学級全体で毎日・毎回取り組むことに対して、一人一人が「自分くらいは手を抜いてもいいや」「今日くらいはさぼっても大丈夫だ」などと自分勝手な判断や都合のよい言い訳をすることなく、「当たり前前」の事を当たり前前「にやり抜く」気持ちを持ち続けることが大切です。

一年生のあるクラスは、四月から一年間ずっと意識し続けている「語先後礼」を一糸乱れぬ状態で行っています。その様子を見ていると、「続けると本物になる」ことを実感します。

↓ 語先後礼 大きな声で「おはようございます!」 担任も「おはようございます!」



### 快適な学習環境づくりを進めています ～体育館照明～

日頃から、全教職員で快適な学習環境づくりを進めています。

先日は、体育館照明の汚れやゴミを取り除き、電球交換を行いました。

今後も、生徒にとって安全で快適な学習環境を目指していきます。



左: 関根用務員 右: 厚川事務主任

### 「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が「日本農業遺産」に認定される

本校付近を含む武蔵野地域に江戸時代から伝わる循環型農業「武蔵野落ち葉堆肥農法」が、「日本農業遺産」に認定されました。

この農法は、雑木林＝畑＝屋敷からなる土地において、雑木林の落ち葉を堆肥として畑で使用する循環型のサイクル農法です。本校付近でもこの農法を継承している地域を見ることができます。

(認定理由)

- ・江戸時代に価値の低い土地を開拓した獨創性
- ・都市近郊にも関わらず、現在に至る伝統継承



雑木林＝畑＝屋敷からなる循環型農業地域 @本校屋上

### 東日本大震災から6年 死者15,000人以上

3月11日(土)、東日本大震災の発生から6年を迎えました。部活動に來ていた陸上競技部員(1年生)に「当時のことを覚えているか」と尋ねると、「恐ろしいことが起きた記憶がある。でも、小学校1年生の時の出来事で記憶が薄らいでいる」との答えが返ってきました。

人それぞれに経験した「3・11」があります。「当たり前前」に感じる日常は、決して当たり前ではなく、有り難いものであることを忘れてはいけません。



追悼の半旗